

1. 粉砕機SH-017の操作パネル

図1は破砕機SH-017の操作パネルです。

上段下:電源(ON/OFF)→ブロワ(ON)→破砕機(ON)

下段下:非常停止→ブロワ(OFF)→破砕機(OFF)



図1

II. 横型中間タンク

以下の図は、横型中間タンクのグリス注入口の位置です。(図2)

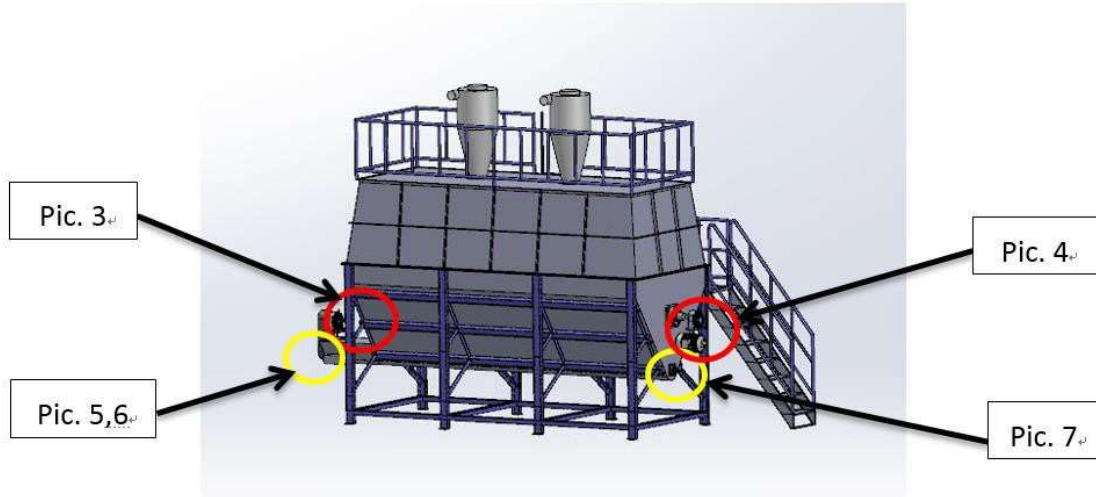


図2

- a. 図3を参照してください。赤丸はベアリングとモーター用のグリス注入口です。寿命を延ばすには、3ヶ月ごと、または300作業時間ごとに注油が必要です。



図3

- b. 図4を参照してください。赤丸は軸受とモーターのグリス注入口です。寿命を延ばすには、3ヶ月ごと、または300作業時間ごとに、注油が必要です。

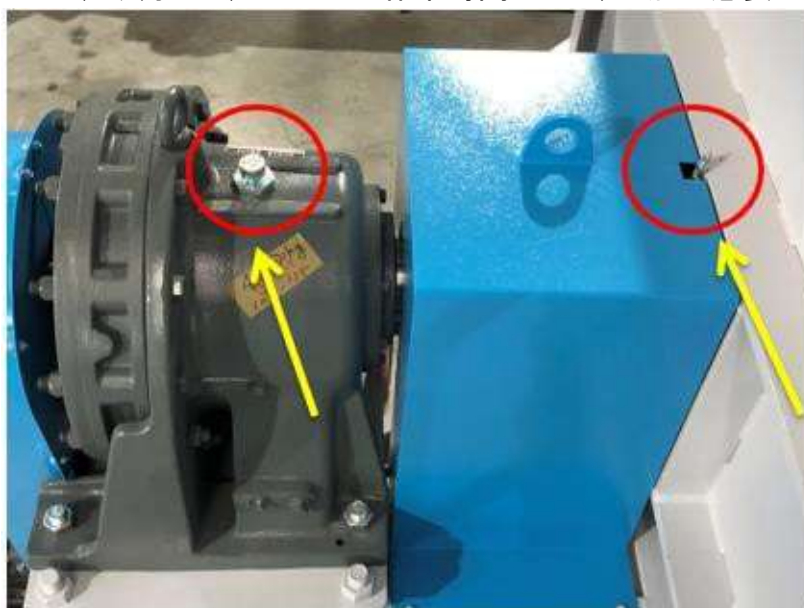


図4

- c. 図5、6を参照してください。ベアリングのグリス注入口はベルトカバーで覆われています。カバーを外してグリスニップルを見つけてください。寿命を延ばすには、3ヶ月ごと、または300作業時間ごとに注油が必要です。



図5



図6

- d. 図7を参照してください。赤い丸がベアリングとモーター用のグリス注入口です。寿命を延ばすために、3 ヶ月ごと、または300 稼働時間ごとにグリスを補給してください。



図7

III. スクリューコンベヤ

赤色の丸印は、定期的なメンテナンスが必要な場所です。

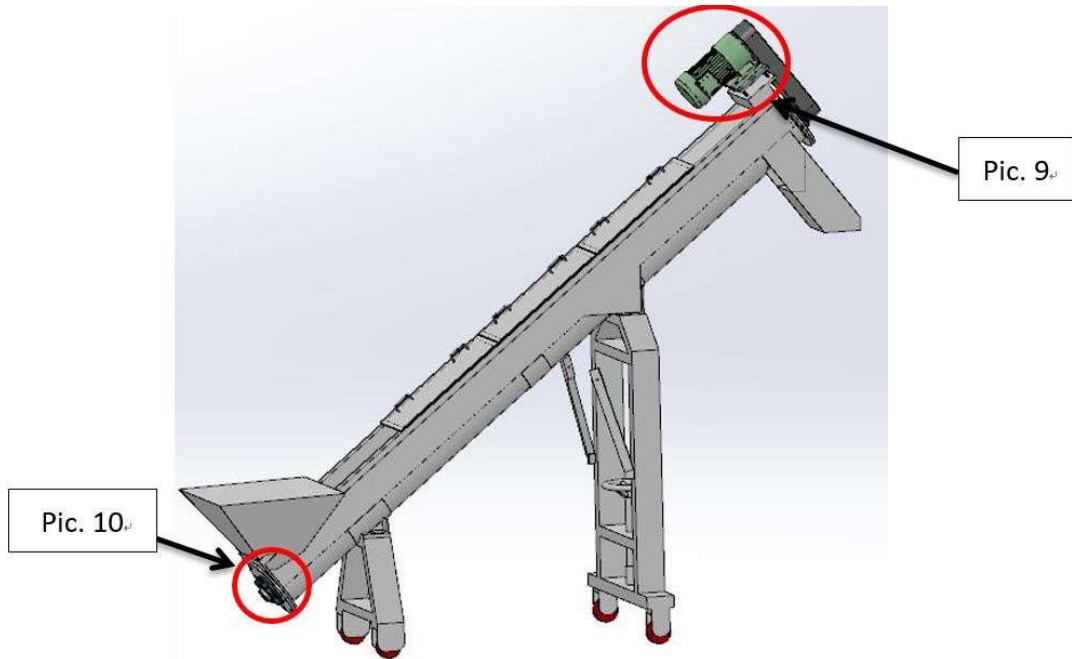


図8

- a. 図9を参照してください。赤丸がグリス注入口です。給油は3ヶ月ごと、または300労働時間ごとに必要です。

図9



- b. 図10を参照してください。赤丸はベアリングのグリス注入口です。潤滑は3ヶ月ごと、または300労働時間ごとに必要です。



図10

IV.PG30E 計量梱包機

一般的な注油および操作ガイダンス

- a. 図11を参照してください。精度不良やエラーの原因となるため、計量時にはおもりを持ち上げたり、動かしたりしないでください。



図11

- b. 図12を参照してください。スケールを振動から保護するために、計量器のネジ(赤丸で囲んだもの)は出荷前に強く締め付けられています。はかりが正常に作動するように、少しねじを緩めてから(完全には緩めず)操作してください。



図12

- c. カップの潤滑油を定期的に点検してください(図13の赤丸)。
本機の使用後は停止後、一度水を抜いてください。
機内の圧縮空気排出後、ドレンのボタンを押してください。

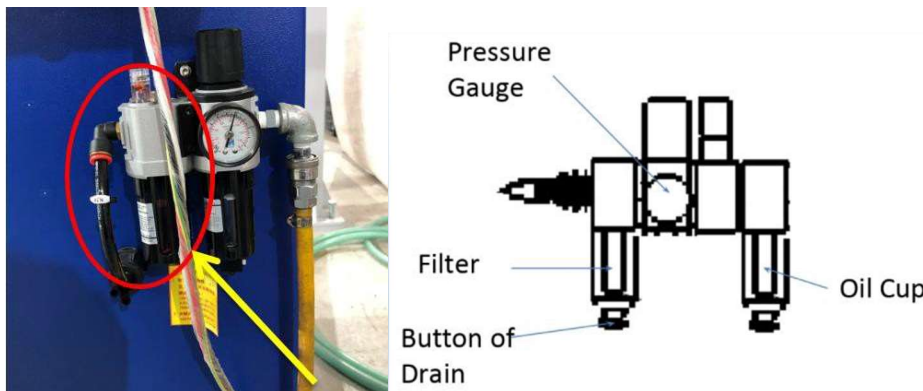


図13

- d. 図14の赤丸は計量器のグリス注入口です(グリスニップルは合計4個あります)。3ヶ月ごと、または300労働時間ごとに給油が必要です。

図14



V ペレタイズ用機器

下の図15は、グリス注入口がある場所です。

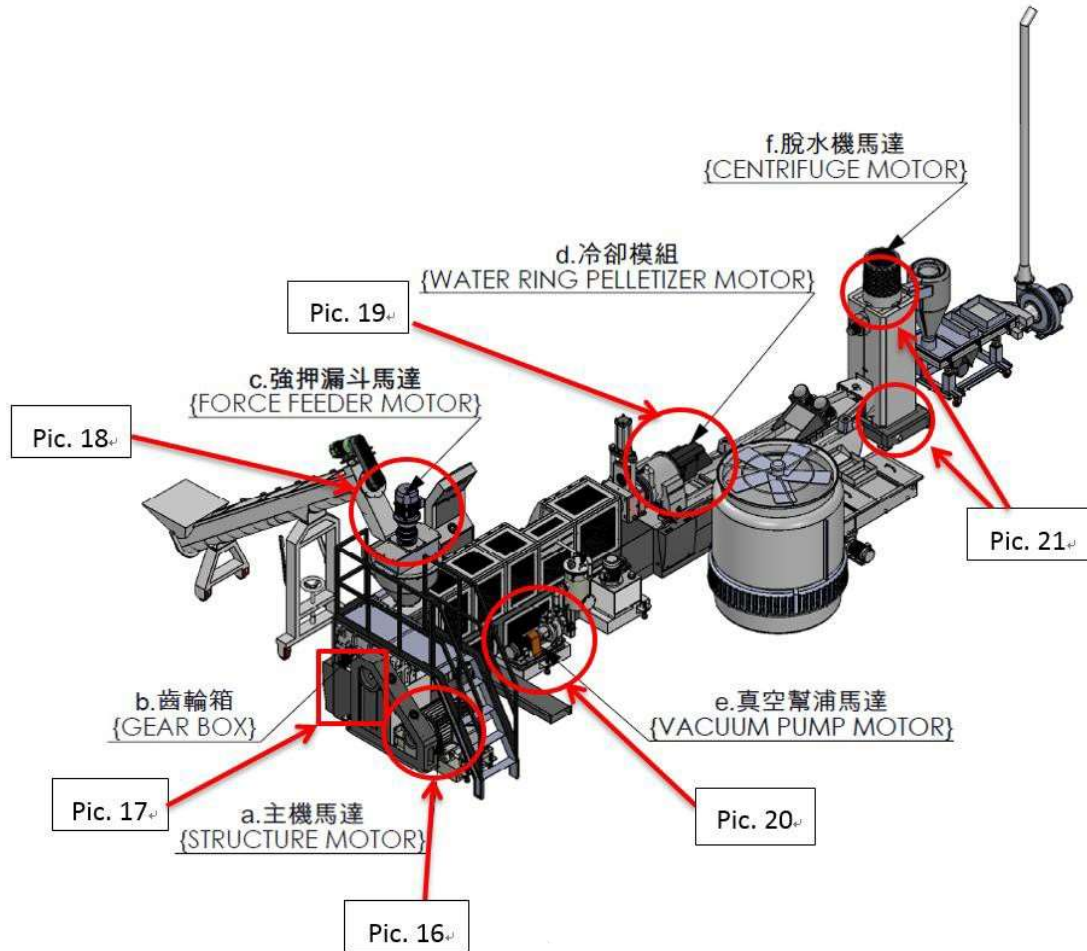


図15

a. 図16を参照してください。赤丸はスクリーモーターのグリス注入口です。3ヶ月ごと、または300労働時間ごとに給油が必要です。



図16

b. 図17 を参照してください。上部の赤い丸がギアボックスのグリス注入口、下部の丸が排出口です。運転後の最初の300～500時間は、ギアボックスに残っている金属くずを取り除くため、グリス交換が必要です。その後は3000～5000時間ごとにグリス交換のために給油が必要です。青い丸印は、蒸気開放用の通気口です。グリス補給作業中は開けてください。

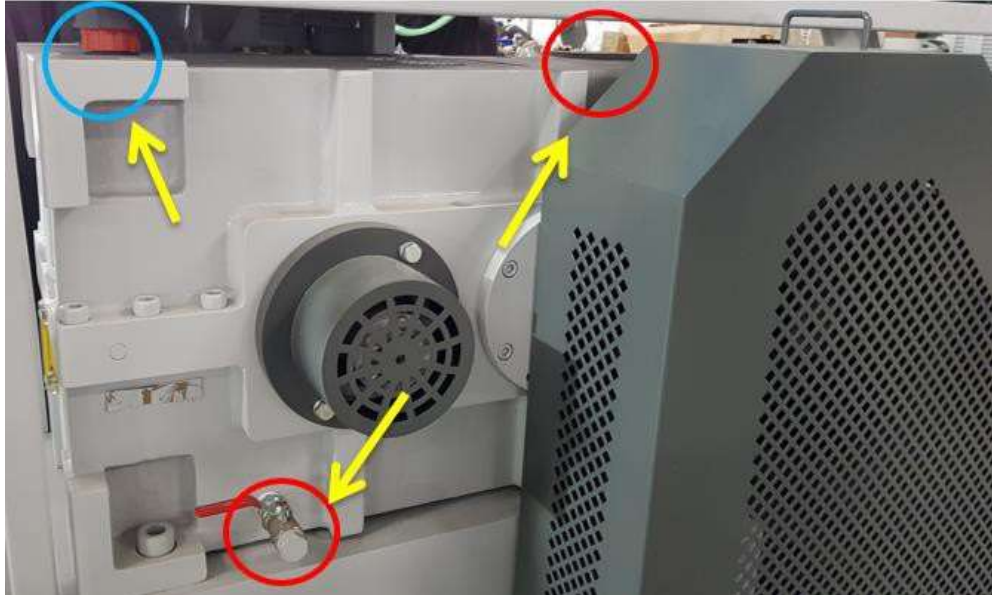


図17

c 図18を参照してください。上の丸印は減速機の押し込み装置用モーターへのグリス注入口、下の丸印は排出口、6ヶ月毎または600作業時間毎の給油が必要です。

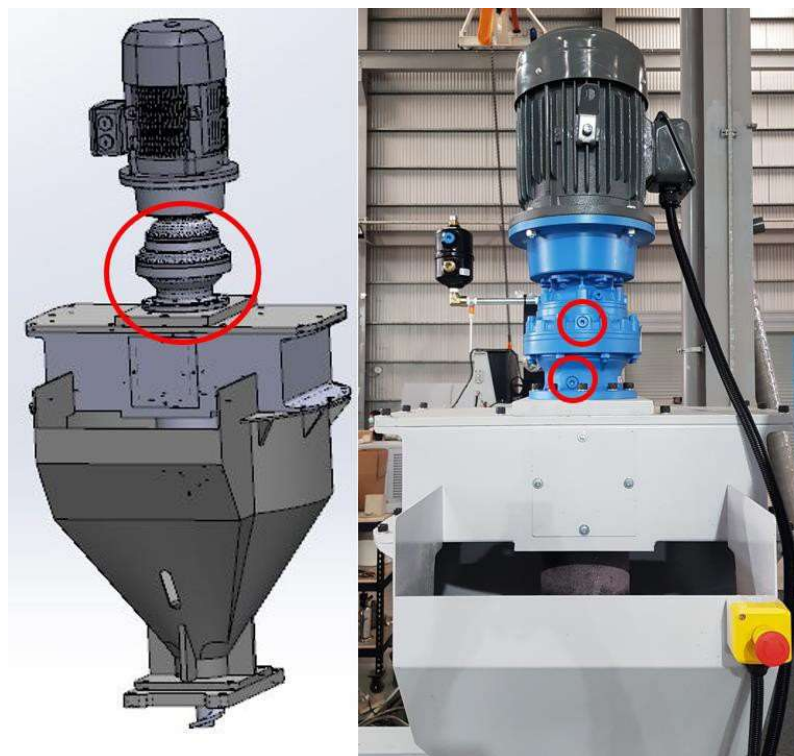


図18

d. 図19を参照してください。赤丸はペレタイズシステムのシャフトシールのグリスニップル(シールに2個のニップルがあります)で、3ヶ月毎または300労働時間ごとに給油が必要です。

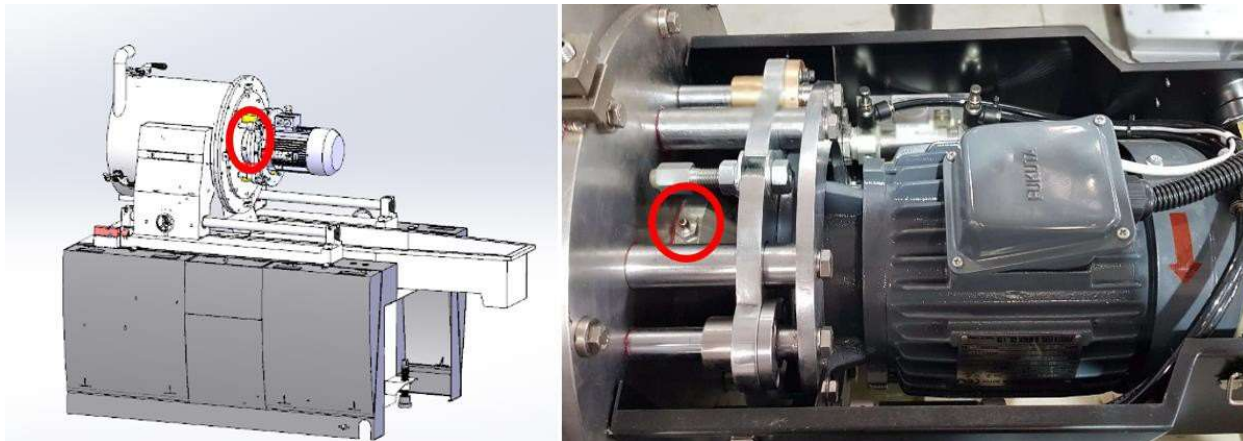


図19

e. 図20を参照してください。赤丸は真空ポンプモータのグリス注入口です。潤滑は3ヶ月ごと、または300労働時間ごとに必要です。

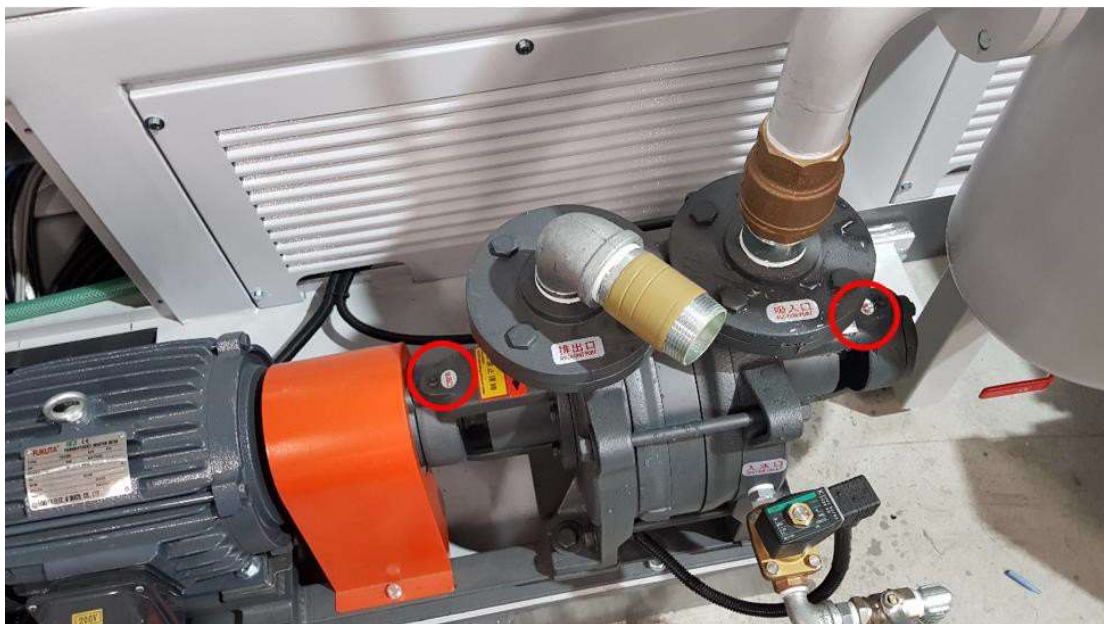


図20

f. 図21を参照してください。赤丸は遠心乾燥機モーターのベアリングのグリス注入口です。潤滑は3ヶ月ごと、または300労働時間ごとに必要です。

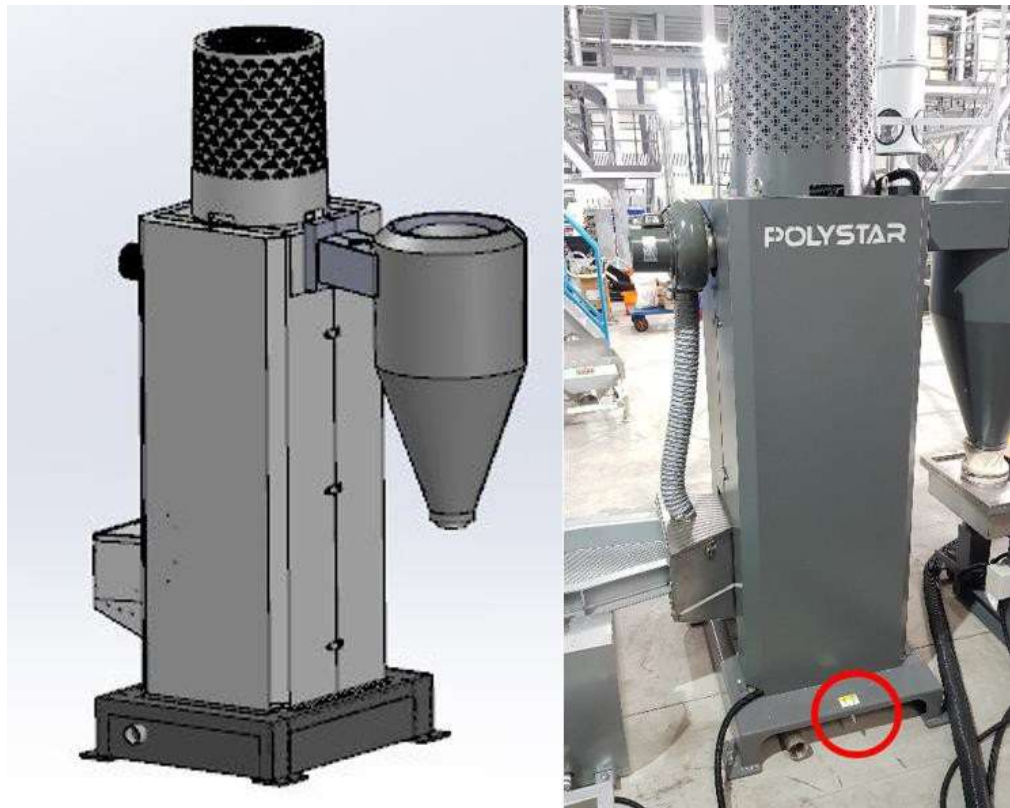


図21